

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's 広場

関連リンク

## 資料室



HOME | 資料室 | 一般教養 | 自己啓発 | 二宮尊徳伝 (5)

労働組合

労働者福祉・共済

一般教養

社会保障

労使トラブル法律相談Q&amp;A

労働関係法

経営全般

人間関係とコミュニケーション

ライフプラン

男女共同参画

公務員関係法

日朝の歴史

7つの習慣

中東の歴史

ボランティア活動

環境活動

社会貢献活動

自己啓発

生涯学習

外交・防衛問題

資本論

### 二宮尊徳伝 (5)

そんな苦労の連続で家にも帰れなかった尊徳は、33歳の時最初の妻と離婚します。責任を感じた服部家の紹介で再婚を果たした尊徳は、その後「なみ夫人」と生涯苦労を共にします。「なみ夫人」も賢夫人と呼ばれるほどの人だったそうですから、相方の存在も大きいですね。

借金で苦しんでいたのは家老だけではありませんでした。尊徳は服部家をはじめ小田原藩士たちの窮状を救うためにあることを思いつきます。さっそく小田原藩の殿様と掛け合せて、殿様の手元金から千両を借り出すことに成功します。借り受けた千両の運用をまかされたのです。

そのうちの700両を年利8%という低利で貸し出し、藩士たちの古い高利の借金の肩代わりをさせました。償還期限も10年から15年の長期にして、その間に家計の立て直しができるよう計りました。藩士たちは大喜びです。

残り300両を原資にして、かつて幸公人たちに対して行った「五常講」を使い、下級武士たちの救済にあたりました。五常とは、儒教の基本的な五徳「仁・義・礼・智・信」のことです。「五常講」とはこのような倫理的・道徳的な自覚の上に立って、金銭の貸し借りをしようとするものです。

下級武士たちを100人を単位にいくつかの大きな組に編成します。それらの組をさらに何人がずつの小さな班に分けていきます。希望する班には、無利息で一人1両から3両までを貸付け、100日で順繰りに回していきます。その班が借りたお金は、班の責任で100日以内に返さなければなりません。返済しない者がいた場合は、講の仲間が連帯責任で弁済する仕組みです。下級武士たちも大喜び、高利貸しの借金から解放されたのですから、必死になって儉約し返済に充てました。

[二宮尊徳伝 \(6\) に続く](#)

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

**Worker's Library 会員登録**  
お申し込みはこちらです。

[>>一覧へ戻る](#)

[教育カリキュラム](#)

[日本国憲法](#)

[傾聴](#)

[語り部スキル](#)

[▶ キーワード検索はこちら](#)

[▶ サイトマップ](#) [▶ このサイトについて](#) [▶ 個人情報保護の取組みについて](#)

[▶ ページTOPへ](#)

[TOP page](#)

[資料室](#)

[イベント情報](#)

[講師を探す](#)

[Worker's広場](#)

[関連リンク](#)

**Worker's Library** 静岡で働く人のための資料閲覧サイト  
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.